

# スリーエム仙台市科学館における 新型コロナウイルス感染拡大予防対策

令和2年10月23日  
仙台市科学館協議会

新型コロナウイルス感染拡大予防は、  
今後長期間にわたり継続的に対策を講じていく必要がある。



**「新型コロナウイルス感染拡大予防に関するガイドライン」**  
を策定（令和2年7月1日施行）

## 対策の基本的な考え方

1. 新型コロナウイルスは、密閉空間・密集場所・密接場所において感染するリスクが高いため、そのような場の発生を徹底して防ぐ。
2. 新型コロナウイルスは、接触感染及び飛沫感染が主な感染要因であるため、来館者等の動線、接触等を考慮し、それぞれのリスクについて適切な対策を講ずる。

## 対策基準

1. 新型コロナウイルスの侵入を防ぐ対策
2. 密閉空間・密集場所・密接場所の発生を回避する対策
3. 接触感染・飛沫感染を防ぐ対策
4. 感染者が発生した場合に備えた対策

※ ガイドラインでは、上記項目について具体的な対策を定めている。

## 1. 新形コロナウイルスの侵入を防ぐ対策

発熱等の症状がある方には来館の自粛を求めていることをホームページ等で周知する。

館の入口に消毒液とサーマルカメラを設置し、来館者に対して手指の消毒と体温のセルフチェックを促す。



## 2. 密閉空間・密集場所・密接場所の発生を回避する対策

開館時は、館内の扉を最大限開放して換気を行い、展示物の利用等に際し順番待ちが発生する場所では、フロアサイン、ベルトパーテーション等により対人距離（1m目安）を確保する。



## 2. 密閉空間・密集場所・密接場所の発生を回避する対策

密集を回避することが難しい展示物やイベントはその利用や開催を休止する。



## 2. 密閉空間・密集場所・密接場所の発生を回避する対策

来館者が館内で密集する恐れがある場合は、館の収容人数を踏まえ、入館者数の制限を行う。

※ 定員（3 F、4 Fの各フロアそれぞれ500人）の50%を超えたら入場制限を行う。

※ 団体については、同時入館者数が250人を超えないよう、受付の際に調整を行う。

### 3. 接触感染・飛沫感染を防ぐ対策

咳エチケット、マスクの着用、こまめな手洗いや手指の消毒を行うよう、来館者に周知徹底する。

来館者が高頻度で接触する部位（手すり、エレベーターのボタン、券売機、自販機等）は、1日2回消毒を行う。

来館者が直接触れる展示物のスイッチ等は、1日2回消毒を行う。



### 3. 接触感染・飛沫感染を防ぐ対策

受付・案内窓口にシールドや空気清浄機などを設置する。

レストランの食器・テーブルなどの消毒徹底、テーブル間隔（概ね1m以上）の確保、カウンターにシールドを設置する。

売店のカウンターにシールドを設置する。



### 3. 接触感染・飛沫感染を防ぐ対策

来館者が直接触れる展示物のスイッチを可能な限り非接触型スイッチに換装する。

68個（全スイッチの約8割）を非接触タイプに交換



制作協力：仙台市科学館ボランティアズクラブ

### 今後の対応

対策の効果の検証とリスクの再評価を行い、適宜対策内容の見直しを行うとともに、あらたな対策も積極的に検討する。

